

令和元年度第6回
関東学生ホッケー連盟役員会
議事録

期日：2019年12月20日（金）

時間：18時30分～21時

会場：品川区立総合体育館会議室

出席者：一川邦彦、河原茂光（以上副会長）、関谷淳一（監事）、久我晃広（理事長）、萬納宏俊、加減幸良（以上副理事長）、宮澤哲郎（事務局長）、成田健一、栗原崇、西澤英一郎（以上常任理事）
林直樹（学連委員長）、溝上日奈子（表彰委員長）、三木実樹（広報委員長）、山野かれん（書記）、青池雅、永田絵弥子、豊福健太（以上学連委員）森翔平、飯塚美里（以上副学連委員）

古屋会長が欠席のため、一川副会長が代行して開催を宣言。

【審議事項】

1. 2020年度関東学生ホッケー連盟委員長・副委員長について

・林学連委員長より、2020年度関東学生ホッケー連盟委員長・副委員長案について報告があり、承認した。

委員長 慶應義塾大学 森翔平

副委員長 学習院大学 石川宝

副委員長 学習院大学 渡邊珠子

【報告・連絡事項】

1. 監督・コーチ不在時の試合のあり方について（インカレでの発生事象）

・林学連委員長より、監督・コーチ不在時の試合のあり方について報告があった。本件は、10月24日の山梨学院大学男子対東京大学男子の試合において、東京大学男子のコーチが不在にもかかわらず、スターティングリストに不在コーチ名を記載し、試合に臨んだ事案。TD判断により試合は実施。

関東学生ホッケーリーグでは監督の代理を主将が務めることが例外的に認められているが、JHA主催の全国大会においては認められるものではなく、今後、同様の不祥事が発生しないよう徹底することを確認した。

2. 第68回男子・第41回女子全日本ホッケー選手権大会の反省・今後の課題について

・林学連委員長より、第68回男子・第41回女子全日本ホッケー選手権大会の事業報告内容の説明があった。観客を増やすための施策として、ポスターの作成、SNS投稿によるカウントダウン企画などに加え、（品川区からの支援もいただき）品川区在住の子ども200人を招待した。またUNIVASによるライブ中継などメディア連携、キッチンカーの出店など、新たな施策を実施した。

・野村財務委員長が欠席のため、飯塚副学連委員より、決算見込みの報告があった。大会3日目試合中止分については、会場使用料は発生せず、関東学連負担分は予算の範囲内で収まる見込みであることが報告された。

・坂梨競技委員長が欠席のため、林学連委員長より、競技委員会の報告があった。

・備品準備に関して、大会初日にプリンターとボールの準備ができていないことが発覚した。プリンターについては、急遽、オリンピック組織委員会の菅野様、近藤常任理事の私物をお借りすることで対応した。ボールについても大井ホッケー場で保管していたボールを借用する形となった。関係の方

には大変、ご迷惑をお掛けし、深くお詫びするとともに、同様の事態を招かないよう事前準備を徹底することを確認した。インカレ準備の工程表には同項目の記載があったが、「誰が何を担当するか」が不明確であり、また関係者との意思疎通が十分ではなかったことが原因。特に前日のグラウンド準備において「競技運営に支障はないか」を念頭に準備を行うべきであった。

- ・ボールサーバーに関して、インカレに出場しない大学の中には一度も担当しない大学があった一方、インカレ出場校の数校に何度か担当してもらうなど、ボールサーバーの仕事量に差が出てしまった。インカレは平日にも開催されるため、関東学連加盟大学は少なくとも1日は平日のボールサーバーを担当してもらうべく（負担の平準化）が必要である。

- ・ジャッジ確保に関して、西澤常任理事のご協力のもと、早くからジャッジの募集を行い、名目上の人数は確保していたが、シフト表作成の段階で1日のみの参加、または1日も参加できない学生が多く（絶対人数が不足し）、社会人の方のサポートで何とか乗り切ることができた。

- ・荒天時（3日目）運営について、順延を繰り返し最終的に中止と決定したが、一部参加チームから苦情があった。シナリオを予め決めて、運営するの必要を感じた。

- ・三木広報委員長より、広報委員会の報告があった。

- ・大会協賛については、JHA 坂本事務局長に協力いただき日本代表オフィシャルスポンサーにプレゼンを行い、新たな協賛獲得につながった。

- ・チケット事前販売については、（各種承認に時間を要し）チケット作成に遅れが生じた。プログラムも同様。記念グッズも納品が遅れ、事前販売に対応できなかったことから、売れ残りが発生した。

- ・準決勝及び決勝については、得点シーンやPCなどのチャンスシーンの動画を撮影し、Twitterで投稿した。試験的に実施したが、好評だったため今後も実施したい。

- ・全体的に広報委員会が担うべき役割が多すぎたため、来年は広報委員会の中でも担当を分け、1人の負担を少なくし、迅速に対応できるようにした方が良い。

- ・溝上表彰委員長より、表彰委員会の報告があった。大井ホッケー場には、表彰物を保管する場所がないため、学生数名の自宅で保管・当日持参したが、持ち運びが負担となった。来年以降は、大井ホッケー場内の施設で保管できるように対応をお願いしたい。

最後に、大会運営全体を通して、TDとの大会に対する意見（感覚）の相違が生じることが多々あった。今後は、事前にTDに役員会や準備委員会に出席していただき、意思疎通を図る必要がある。また、各種施策実行（単に競技運営だけではなく、盛り上げるための広報などの施策実行）には、携わる学生の人数が不足しており、いかに人数を増やすかが課題。

3. 日学連第2回理事会について（報告）

林学連委員長および久我理事長より、日学連第2回理事会について報告があった。

東西交流戦は来年より男女隔年開催となることが報告され、来年の開催は女子の開催となると報告された。他、来年度より、マウスピースの着用がJHAとして義務化されることなどが報告された。着用なしの場合の罰則はなし。矯正中の選手、医学的に着用が不可能な選手、1年生（時間的に準備が間に合わなかったなど）に関しては、誓約書を毎試合書いてもらうなどの対応を取ることが確認された。また、誓約書のフォーマットの作成が必要であることが確認された。

4. 来年度の社会人役員（改選）について

社会人役員は任期2年のため、来年の総会で社会人役員（改選）が行われる旨の報告があった。

5. 各委員会報告

・石野審判委員長が欠席のため、林学連委員長より、審判委員会の事業報告があった。アポイントメント表の配信遅延など改善要事項、他審判ユニフォーム、インカム購入などの報告があった。

6. 今後の日程について

引き継ぎ会議 1月15日(水)18:30～ 品川区立総合体育館

第7回役員会 1月22日(水)18:30～ 京橋区民プラザ

学連総会 2月24日(月)16:00～ 青少年記念センター

以上

(押印略)

関東学生ホッケー連盟副会長 一川邦彦

関東学生ホッケー連盟理事長 久我晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長 林直樹